

2025.2.6 (木)  
第 29 回例会  
(通算3791回)

## 2024-2025 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第86代会長 高橋 直人  
副会長 吉田 英一  
幹事 東堂 光春  
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F  
 0154-24-0860  0154-24-0411

2024-2025 年度  
国際ロータリーテーマ



2024-2025 年度  
R1会長 ステファニー・M.アーチック  
第 2500 地区ガバナー  
小谷 典之 (帯広西 RC)

**本日のプログラム** 「節分にちなんで」(親睦活動委員会委員会)

**次週例会** 講師例会「これからの市政について」(プログラム委員会)

- ロータリーソング：奉仕の理想    ■ソングリーダー：中島 徳政君
- 会員数    104 名
- ビジター
- ゲスト

### 会長の時間 高橋 直人会長



会員の皆さま、こんばんは。本日は節分にちなんで夜間例会でございます。今年 2025 年の節分は例年よりも 1 日早い 2 月 2 日でしたが、なぜそんなことが起きるのでしょうか。ご存じの方は多いとは思いますが、ここで改めてお話しいたします。

節分とは、文字通り季節の分かれ目、本来は二十四節気の立春・立夏・立秋・立冬、それぞれの前日を示しますが、冬から春に移る立春は、古来より 1 年の始まりとして重んじてきたため、特に立春の前日に節分として広く定着しています。

二十四節気は、地球と太陽の位置関係を基に国立天文台が割りだして前年の官報で公示する立春は 2 月 4 日であることが多いのですが、2025 年暦要覧によれば、今年の立春は 2 月 3 日午後 11 時 10 分で、立春の前日と定義されている節分も 1 日早まり 2 月 2 日になります。

地球が太陽を 1 周するのに 365.242189 日を要するため、1 年 365 日のカレンダーは 6 時間のずれが生じます。これを 4 年に 1 度のうるう年でリセットしますが、それでも端数分のずれが残ってしまうため、そのため立春は年によって 3 日や 5 日になり、それに伴い節分の日も日付が変わります。

実は、2021 年も節分は 2 月 2 日でした。2021 年から 25 年までは 4 年ごとに 2 月 2 日が節分になります。2057 年 58 年は 2 年続けて 2 日となります。このような定義に基づいてずれが生じるそうです。

暦の上では節分を過ぎれば春ですが、2 日前に大雪が降り、まだまだ釧路は真冬です。3 月に入ると春が訪れますので、会員の皆さまも風邪に気を付けて、釧路の厳しい冬を乗り切りましょう。

以上で本日の会長あいさつとします。今日も楽しい夜間例会にしましょう。

### 幹事報告 東堂 光春幹事

皆さま、こんばんは。幹事報告になります。2 月のロータリーレートは、1 ドル 154 円となっております。

3 月 8 日の IM の申し込みの締め切りがいよいよ明日までとなっておりますので、まだ出欠を出されていない方は事務局のほうまでご連絡をお願いいたします。

次に 6 月 21 日からカナダのカルガリーで開催されます 2025 ロータリー世界大会カルガリー大会ですが、釧路クラブからも現在 3 名の方が行く予定となっております。「私も行きたい」と世界大会に行きたい方は事務局までお知らせください。

幹事報告は以上となります。

■本日のプログラム■  
「節分にちなんで」

**親睦委員会 石井 孝行委員長**

皆さま、こんばんは。親睦委員の石井でございます。本日の例会は『節分にちなんで』と題しまして、第1部に日本の伝統文化であります悪霊払いの「豆まきの儀」と節分の縁起物「恵方巻モグモグタイム」を準備しております。また、第2部におきましては、今年の巳年の皆さまによります「年男大いに語る」と題しまして、今年の抱負を年男の皆さまに大いに語っていただきたいと思っております。それでは本日も大いに楽しんでいただきますのでよろしくお願いいたします。

では早速、豆まきの儀に入りたいと思っております。節分とは旧暦の立春が新年であったため、その前の日に邪気をはらう目的で始まったのが由来とされております。現在の大晦日のような日であったといわれています。高橋丸の航海も折り返しに入ってきた2月、年の変わり目に邪気を祓い、釧路クラブの皆さまの無病息災を願ひまして、これより豆まきを行いたいと思っております。

高橋会長、吉田副会長、東堂幹事におかれましてはご登壇をお願いいたします。親睦メンバーより「かみしも」の上着を着させていただきますのでよろしく願ひいたします。

**豆まきの儀**

**親睦委員会 石井 孝行委員長**

準備はよろしいでしょうか。それでは皆さま、豆まきには当然、鬼が必要ですので鬼に入場していただきたいと思っております。

それでは豆まきを行ってまいります。高橋会長の豆まきに合わせて「鬼は外、福は内」を2回皆さまで声をそろえていきたいと思っておりますので、よろしく願ひいたします。

それではまいります。鬼は外、福は内。鬼は外、福は内。もっと強く投げても大丈夫ですよ。

ありがとうございました。邪気は退散いたしました。釧路クラブに無病息災大なる福がもたらされていくと確信いたします。鬼の赤鬼、青鬼ご苦労様でした。三役の皆さま、会場の皆さま、ご協力ありがとうございました。

(親睦委員：落花生の清掃)

それではここで乾杯に移りたいと思っております。乾杯のご発声を西村パスト会長より賜りたいと存じます。西村パスト会長、よろしく願ひいたします。

**祝杯のご発声**

**西村 智久パスト会長**

こんばんは。僕も節分の話をしようと思っております。会長が喋り出すので、どこまで喋るのだと思ひながら聞いていました。しかも、司会もまた節分の話です。喋られなかったことを2、3喋りたいと思ひます。

本当に2月2日というのが初めての感覚だったので。コロナ禍の時には、節分をほとんどの皆さまがやっっていなかったもので、それが4年ぶりのうるう年のように2月2日だったということです。この後は、また不特定になるそうです。

恵方巻につきましては、皆さまご存じのとおりセブンイレブンの戦略でこういう羽目になっておりますが、昔は西日本のほうでは習慣的であったのです。今でもセブンイレブンもいつも余っています。そんなにいっぺんにあんなに長いものを食べられるわけないです。ということで、今年から多分、セブンイレブンも短めで数少ないと思ひます。

ということで乾杯に移りたいと思ひます。

鬼を祓い、幸運を祈る日ということで節分になりますので、高橋年度、荒井年度とロータリー諸兄の皆さまの幸運を願ひ、乾杯したいと思ひます。

(乾杯)

ありがとうございます。

**親睦委員会 石井 孝行委員長**

西村パスト会長、ありがとうございました。続きまして恵方巻、モグモグタイムに移りたいと思ひます。各テーブルに福を巻きこむ恵方巻をご準備しております。今年は具材が少し豪華になっておりますので、皆さま、ぜひ完食していただければと思ひます。今年の恵方は西南西やや西、この会場では、私のほうのステージが西南西やや西の方角になります、恵方になります。

皆さま準備よろしいでしょうか。少し大きい太巻きになっておりますので、完食はしなくてもいいのですが、最初だけお付き合いいただければと思ひます。それでは恵方を向き、願ひ事をしながら、黙々と恵方巻にかぶりついていたいただきたいと思ひます。

それではどうぞ召し上がりください。

恵方はこのステージです、こちらの側です。皆さま、ご起立いただいてステージのほうを見て、願ひ事をしながら無言で完食していただきたいと思ひます。

(恵方巻、モグモグタイム)

ありがとうございました。少し量が多くなっており  
ます。願い事されましたでしょうか。  
これにて恵方巻、モグモグタイムを終了します。

テーブルには鳥取神社様謹製の「福豆」をご用意して  
おります。福豆も邪気を祓い幸福を呼ぶありがたい豆  
と言われております。ぜひ皆さまにはお持ち帰りいた  
だければと思っております。  
それでは、皆さまご歓談ください。

(歓談中)

## 今年の年男の紹介

### 親睦委員会 石井 孝行委員長

これより本年、巳年を迎えた年男の皆さまをご紹介  
いたします。

昭和40年生まれ、浅川正紳君、登坂康弘君、栗林定  
正君、山原活志君、岩田信一君、杉村莊平君、邵龍珍  
君、吉岡和美君、羽田野貴志君、水口喜文君、吉田英  
一君。昭和52年生まれ、濱口憲太君、田中弘明君、  
佐藤貴之君、菅原顯史君、以上の15名となります。

早速ですが、ご出席の方々より年男、大いに語って  
いただこうと思います。昭和40年生まれの方々は、  
先月の還暦のお祝いでお言葉をいただいております。  
またしゃべるのかと、頼みにくい状況ではあったので  
すが、今回は年男としてお話をいただきたいと思いま  
す。大いに、楽しく、おもしろいお話をしていただき  
たいと思います。

ご出席の昭和52年生まれ、佐藤貴之君から大いに  
語っていただきましょう。佐藤君、よろしく願いま  
したします。

## 年男 大いに語る

### 佐藤 貴之君



皆さん、こんばん  
は。ご指名いただき  
ましたので昭和52  
年生まれ年男の抱負  
を5分位はいいです  
かね、委員長。

年男といってもただ  
年をとっただけです  
ので、特にめでたい  
ことも何もな  
いと思っているの  
ですけれども。私  
は30歳後半にロー  
タリークラブに入っ  
てから、気持ちは  
30代だったの  
ですが、知らない  
うちに48歳にな  
るということでア  
ツという間に年  
だけをとった感  
じでいるのです。

去年、幹事をやっ  
ていましたので、  
ロータリーにつ  
いて話した方が  
いいのかなと思  
っているのです。  
どうでしょう皆  
さん、去年の決  
算の話とか知り  
たくないです  
か。あっ、後藤  
前会長が余計な  
ことは言うなとい

顔をしているの  
ですが。

年次総会に出た  
方は分かっている  
と思うのですが、  
発端は後藤年度  
の12月くらいに  
樋口さんが「なぜ  
かお金が合わない  
」と、ちょっと言  
って来ていたの  
です。こちらとし  
てはしっかり会  
計を行っている  
し、甲賀事務所  
ともしっかり打  
ち合わせをして  
いるし、何を言  
っているのです  
か、です。小声で  
話すので、誰か  
がお金を抜いて  
いるという話な  
のかなと。まさ  
か大山さんが  
とか、いろいろ  
考えていたの  
ですが、大山さ  
んにはそんな  
ことないです  
よ。

よくよく聞くと、  
「今年の話では  
ない。今までの  
積み重ねの数字  
が実は合ってい  
ないと思って  
いたんだ」と12  
月に言い出した  
のです。それを  
今年に言いま  
すか、みたいな  
感じで樋口さん  
に言ったのです  
が、年明けに  
三役に言うの  
です。それを後  
藤さんに言っ  
たら「よし、や  
ろう」と言うに  
決まっている  
のですが、樋口  
さんが言っ  
たら「今年度で  
方をつけよう」  
という判断に  
なりました。そ  
れで、あのよう  
な結果になった  
訳なのです。

その中身は、幹  
事をやった方、  
決算をやった  
方は分かる  
と思うので  
すが、ものす  
ごく大変なの  
です。例えば、  
「夜間例会で  
親睦委員が着  
る法被の購入  
は何費です  
か」とか、項  
目がたくさん  
あるのです。  
私は、出所  
が一緒です  
から適当に  
やってしまう  
のですが、樋  
口さんから  
すると「それ  
はダメ」なの  
です。ものす  
ごく細かい  
方なのです。  
そういうこと  
もあって、一  
からやり直  
されたりし  
ています。

樋口さんは後  
藤年度の5月、  
ゴールデンウ  
ィークは何  
処にも行か  
ずにそれを1  
週間じーっ  
とやっていた  
のです。です  
から私は何  
もしていない  
のですよ。樋  
口さんに言  
われるがま  
ま、やって  
いただけなの  
です。そう  
いう感じで  
5月は、その  
年度の着陸  
態勢に入っ  
ていて、も  
う終わる感  
じだったの  
です。その  
ころから「決  
算については  
これからや  
らなければ  
いけない、  
なんとかし  
よう」と後  
藤年度は動  
いていま  
した。

後藤年度が  
終わった8  
~9月くらい  
に樋口さんと  
私は、後藤  
年度の領収  
書を事務局  
で1から全  
部を振り分  
けして、夜  
遅くまで残  
ってやって  
いました。9  
月ころ、沢  
田さんに「  
落ち着きま  
したか」と  
声を掛け  
られたの  
ですが、「そ  
れどころ  
ではない  
です」みた  
いな微妙な  
返事をした  
記憶があ  
るのです。

総会に出  
ていただいた  
方は分かる  
と思いま  
すが、樋  
口さんは  
きちんと  
表に出  
して、み  
んなが  
納得す  
るよう  
に「ここ  
はこう  
なっ  
てい  
て」と  
ひとつ  
ひとつ  
解明  
して  
いま  
す。ロー  
タリー  
の決算  
は皆  
さん  
が  
お分  
かり  
のと  
おり、  
決算  
を出  
した  
時  
には  
次  
の  
年  
度  
が  
動  
い  
て  
い  
る  
の  
で  
す。  
予算  
も組  
んで  
動き  
出  
して  
い  
る  
の  
で  
、前  
の  
年  
の  
決  
算  
が  
終  
わ  
っ  
て  
少  
し  
余  
裕  
が  
出  
た  
ら  
、こ  
こ  
の  
積  
み  
立  
て  
に  
回  
そ  
う  
と  
思  
っ  
て  
も「  
つな  
ぎ  
合  
わ  
せ  
」が  
でき  
て  
い  
な  
い  
の  
で  
す。  
前  
の  
年  
に  
終  
わ  
っ  
た  
も  
の  
を  
ど  
こ  
に  
も  
表  
記  
す  
場  
所

がないのです。次の年が始まっているので、次の年の幹事とうまく引継ぎができないというのが毎年重なって行って、そうなったのだろうと私個人は感じていたのです。それを甲賀事務所の熊谷さんと樋口さんときちんと打ち合わせをして、今後はそういうことはないようになり、横田さんの時からもしっかりなると思います。項目もしっかり増えたので、細かくて樋口さんの性格が出ている決算書になると思います。

幹事の皆さんが適当にやると、樋口さんは10年前のものでも暴露するのです。『マルサの女』ではありませんが悪いことは一切できません。という去年、幹事経験をさせていただいた年でした。

皆さんは知っていますか。去年、ラーメン店は過去最多の倒産件数でした。本当はロータリーをやっている場合ではないのです。嫁にはすごく言われるのですけれども、次年度の荒井年度の理事として一生懸命にロータリー活動をして行きたいとします。どうぞよろしく願いいたします。ご清聴、ありがとうございました。

#### 親睦委員会 石井 孝行委員長

佐藤君、ありがとうございました。ホントに予想していなかったことを大いに語っていただいて、今日は樋口さんがいなくてよかったですね。次は、樋口さんにも大いに語っていただきたいと思いました。

昭和52年生まれの方は佐藤さんだけでした。続いて、昭和40年生まれに移ります。

今日は吉田英一君から、お願いします。あっ、いま吉田さんは、いらっしゃらないですね。では、繰り上げ当選で吉岡和美君、よろしく願いいたします。

#### 吉岡 和美君



佐藤前幹事のロータリー秘話の後に、なにも盛り上げる話はないのです。私は7月に60歳になるので、サラリーマンとしては一区切り

になります。22歳で北海道新聞社に入って38年になるのです。よくクビにならずに、ここまでやって来られたというのがひとつ大きな感想です。

ここで格好よく話すことはないかと考えました。思い出すのは、学校で習った孔子の言葉ですね。「六十にして耳順う」ということらしくて、誰のいろいろな意見にもストーンと落ちて文句を言わないということのようです。

私は常々、38年間の会社で文句を言って、たてついてきたのにクビをとられずにここまで来られたのは、ホントにありがたいことです。さらに、60歳になる

前に釧路ロータリークラブでこのような釧路の名士の皆さまと席を一緒にしてお酒を飲んだり、ゴルフをしたりの経験ができたのもサラリーマン人生の最後のご褒美というのもなんですが、皆さんを前にして感謝を申し上げたいと思います。

もうひとつ。孔子の言葉は「六十にして耳順う」ですが、よく薄野のスケベなお店で一緒になる、スケベと言っても裸にはなりません少しエッチなスナックで一緒になるお医者さんに、「人間は、だいたい中学3年生で精神醸成は終わる」と言われました。ですから、ここにいる諸先輩も今の精神年齢は中学3年生レベルで終わっているそうなので、皆さんこの年齢ですから、精神年齢は全員が、若い人も大先輩もみんな一緒なのです。

これも、ロータリーはひとつになって仲良くやろうということなのかなと思いついて申し上げさせていただきました。このような機会をいただきましてありがとうございます。

#### 吉田 英一君

いま、そこに座って吉岡君のスピーチが終わったら、会長から「今、呼ばれていたぞ」と言われました。トイレに行っていて、呼ばれたのが分からなくて申し訳ございません。



吉岡君は論語の話をしていましたが、私は先週、京都に勉強に行っていました。そこで、「僕は還暦ですが、論語でいい言葉はありますか」と論語の先生に聞いたところ、「60は『き』だぞ、分かるか」と言われました。「分かりません」と言ったら「教えて欲しいか」と言うのでお願いしました。

「老」の下に「日」と書いて「耆」を「き」と読むというのです。

『きろう』って知っているか」と言われて、分かりませんと言うと「70歳は『老』と言う、60歳は『耆』、きだ」と言うのです。どういう意味かという『味わいが深い』という意味だそうです。どういうことかといいますと、吉岡さんも言っていました、「六十にして耳順う」と言って、60歳になったらちゃんと人の話をよく聞いて、解釈のできる人間になりなさいよ、と孔子が言っているのです。その中の「味わいが深い」ということは、「人の意見をちゃんと聞いて自分の中に落とし込みなさい」と言っていました。

なるほど、味わいが深いということが耆という意味なのだ。では「耆老ってなんですか」と聞いたら、「徳の高い老人のことを耆老という」と言うのです。ロータリーの皆さんで、徳の高い先輩がたくさんいま

すので、私もいろいろな方々の話を聞いて徳の高い人間・耆老になれるようにこれから徳を積んで行きたいと思えます。

皆さま、よろしくお願ひ致します。ありがとうございました。

## 杉村 莊平君

皆さん、こんばんは。随分、シーンとされていて嫌なのですが、よろしくお願ひいたします。

遠い昔に「新人類」と呼ばれた昭和40

年生まれの世代です。振り返ると、小中学校時代は「ピンクレディ」と「キャンディーズ」です。中学高校になって「横浜銀蝿」「校内暴力」「金八先生」と。大学に行つて「おニャン子クラブ」と「オールナイトワズ」、そのままバブルに入って「ジュリアナ東京」「マハラジャ」、社会人になってアツと言う間にバブル崩壊。というのが昭和40年世代の軽く振り返る歴史だと思います。なかなか忙しい世代でした。

自分は還暦だという気は全くしていませんが還暦になりました。仲よくしてください。よろしくお願ひいたします。みんな、なぜかシーンと聞いていますね。

小中高と橋南方面、ひぶな幼稚園、東栄小学校、東中でした。僕は弥生町出身をよくネタにしています。いくらでもネタがあるので話せばいくらでも出てきます。軽く言うと、東栄小学校、弥生町1丁目というのは、僕が生まれた所は鑑別所と刑務所のちょうど間で、ひどい環境の所でした。僕は多分、貧乏だったのだなと思っておりますが、その弥生町1丁目では唯一大豪邸だったのが横田さんのお宅だったのです。彼の家は弥生町1丁目ではないのです。その向かいには金井さんの親戚の大きい家もありましたが、東栄小学校を超えて米町に行くと浅川さんのお宅とか小船井さんのお宅とか、昔のスタンダード石油の山本さんのお宅とか、とても大きい家があるのです。僕らの弥生町は貧乏長屋の所です。そこでノビノビと育ててもらいました。一回話したことがあります、横に日進小学校がありました。東栄小学校と日進小学校は歩いてもたかだか5～6分くらいですが、本当に別世界です。向こうはいい所のお坊ちゃん、横田君がいらっしゃいますが、こちら東栄小学校は木造でボロボロの校舎、ルンペンストーブとポットン便所です。日進小学校はRCのキレイな所で、プールが付いていました。その日進小学校に年に2～3回プールを借りに行くのです。そうしたら、2階3階からみんなが顔を出して罵詈雑言を、今では言えないような、簡単に言えば「貧乏人は来る



な、お前たちに貸すプールはない」と小学校時代にもっとひどい言葉で言われたわけですよ。ここにいたのが、栗林君と波田野君でした。社会にはそんな格差があるものなのだとな東栄小学校で多くを学びました。そのように小学校中学校時代を過ごしました。

大学時代、社会人時代は東京に行くのですが、ここでもホントにいろいろ遊ばせてもらいました。ここを言い過ぎるとまずいことになります。一時、言ってしまうと皆さんから聞かれたことがありますので、この辺の経験はあまり言わないことにしたいのですが、社会人時代は東京でよく遊ばせてもらいました。平成6年に29歳で釧路に帰って来て、30年経ってアツと言う間に還暦です。

最近、還暦を迎えて思うことは、小学校時代の教頭先生がすごく仲よくしてくれて、すごく尊敬していました。その先生が卒業文集に「生き様」という文章を載せて、当時の小6では何と読むのかも分からなかったのですが、ずーっと「生き様」が引っかかかって今までも頭に残っていました。

釧路に帰って来て、すぐ仲よくしてもらった取引先の社長さんがおります。すごく尊敬していた方なのです。その方の社長室の後ろに額縁がありまして、「日日是好日」が飾ってありましたので、すごく印象に残っています。当時は、つまらない掛け軸がと思っていました。なに、日日是好日なんて、とっていたのです。最近になって、この「生き様」と「日日是好日」が頭にあります。その場その場で、俺はいい生き方をしているよ、俺は幸せだよ、とアピールするのではなくて、ごく普通に一日を過ごして一日が終わる時に、ああ、今日はいい一日だったな、と毎日を繰り返せるのが日日是好日なのだろうというオジサンになっていたいな、それが生き様なのだろうと最近、少しずつ思っ

て来ているところです。そのようなオジサンを目指したいのであれば、これに一番いいのがロータリークラブとと思っている次第です。例会に出て心を豊かにして、その豊かな心を持ち帰って地域に貢献する。僕もロータリーを少し勉強していますが、いろいろ見ていて「心を求めて例会にいたり、境地を得て例会を去る」がいい言葉だなと思っております。

そうなるように、日日是好日と言えるようなオジサンになれるように60代を楽しんで過ごしていきたいと思っておりますので、ぜひ、これからも仲よくお願ひします。ありがとうございました。

## 親睦委員会 石井 孝行委員長

杉村君、ありがとうございました。私も弥生1丁目の石井でございます。私は48年なので8年後の弥生町出身なのですけれど、友人には堅気の人はいませんでした。

僕も小さいころはその辺の雑草のつくしとか食べていました。同じ1丁目の横田君は同級生でしたがすごく立派な家で、暖炉があって、ダイニングテーブルで話す時は向こう側にいるようなテーブルでカレーライスを食べた記憶を急に思い出しました。ありがとうございました。

最後は、岩田信一君、よろしくお願ひいたします。

## 岩田 信一君

皆さん、こんばんは。最後に話すのは嫌ですね。最初のほうが良かったと思います。杉村さんが話したように、小さいころの話をしたと思います。

私は函館で生まれたらしいです。記憶にはなくて親に言わせれば「函館生まれだ」と言われました。こちらに来て、旭小学校に入学しました。旭小学校は皆さんご存知のとおり、北大通で商売をされている人がほとんどですが、そういう所でボンボン生活をさせていただいて、旭小学校で初めてのアイスホッケー部を立ち上げたのが私たち一期生で、それからずっと続いてきて、旭小学校がなくなったのですが、そういう歴史があります。

その後は北中学校に入りました。北中でアイスホッケーを続けるには、寿小学校は品が悪い人たちばかりでしたからイジメみたいな感じでやられてしまって、旭小学校の人たちはみんな1年も続かず辞めてしまいました。それからは卓球部に入りました。卓球部では同級生に強い人がいたので北中は有名なチームに入れて、すごく良かった3年間でした。

高校は商業高校に入って悪さばかりして、家がたまたま北大通にあったので暴走族のたまり場となって、毎日のようにバイクとクルマが家の前に止まって、3階でたむろしていた経験をしました。

それから、釧路にいと、悪い人間ではないのですが、少し悪かったものですから人を変えようと思って誰も知らない所に行ってみたくて大阪の大学に行ったのです。僕はこういう性格ですから、学校はチラチラ行きながら、夜のバイトに一生懸命になりました。当時は「ホスト」と言う名前はなかったのですが、最初のホストというような雰囲気夜の男の店にアルバイトで入りました。そこでは、人気ナンバーワンになると10万円がもらえることから、そこで人気ナンバーワンになろうと体重を10キロ痩せて51キロくらいまでになりました。背が小さいので人気ナンバーワンにはなれなかったのですが、最後の3年生の時に人気ナンバーワンになれて10万円をいただいた経験があります。

向こうで就職を2年間して、こちらに帰って来ました。たまたま青年会議所に25歳から入って、夜の世界もいろいろ覚えさせていただきました。その時にゴルフも覚えて、いまはN A Y U T Aでゴルフを一生懸命

に頑張っています。今年の目標として、青田さんをなんとかつづきたいと思っています。今日はいないので言いますが、いつもいじめられているので、口では負けるのでゴルフのスコアで勝とうというのを目標としたいと思っています。

これからもよろしくお願ひいたします。

(ご歓談中)

(手に手つないで)

## 親睦委員会 石井 孝行委員長

ここで、中締めのご挨拶を天方パスト会長より賜りたいと存じます。天方パスト会長、よろしくお願ひいたします。

### 中締めのご挨拶

#### 天方 智順パスト会長

皆さま、お疲れさまです。久しぶりに「レラ」以外で挨拶をさせていただきます。

一昨日、石井委員長からショートメールが来て、「締めの挨拶、よろしくね」というだけでした。前回もこのようなことを話したと思いますが、まあ石井ちゃんだから許すかな、ね！ということ。

巳年の皆さま、おめでとうございます。私は辰年で去年でした。巳年はそれよりも「乙巳(きのとみ)」で、来年は丙午(ひのえうま)です。ということに気付いて、人口減少の日本で、また出生数が減るのかなど。

「乙巳」はいい年ということ。年頭初からいろいろ挨拶をされる方がいて、自分なりに巳年はどうしていい年なのかを調べてみたのです。脱皮するから、物事の新しい始まりにはいい年だということです。

脱皮とはどういうことかと思っています。「一皮むける」とよく言いますが、ホントに一皮むけている人はいるのでしょうか、と思う時があります。ああ、この人は見るたびに一皮むけている、脱皮したばかりだと思ふのが横田君です。毎年、台北に行つて大きく皮を脱いでいるはず。そういう人もあるのだなと横田君を見て、そう思ふ。

何はともあれ、高橋会長、あと4カ月と少しです。最後まで気を抜くことなくこのクラブ

を思う存分引っ張っていただきたいと思ふ。

先ほど、世界大会の話がありましたけれども、荒井エレクトが行くそうです。何をしに行くのですかね。荒井さんはいいのですよ、横田君が心配なのです。お酒を飲まない二人がカナダのカルガリーに行つて何をしてくるのかなと思ふすけれども、多分、わがクラ

ブのために有益な情報を持って、お勉強をされて帰って来るだろうと思います。荒井さん、よろしくお願いたします。

ということで、締めます。皆さんのこの年度の残り4カ月と少し、さらに皆さんで脱皮できるように心一つにして「一本」で締めたいと思います。ご唱和をお願いいたします。

(一本締め)

ありがとうございます。

